

平成26年度
NPO等による文化財建造物の管理活用事業
報告協議会

(1)事業名称

文化財建造物を活用した まちづくりの「縁側」づくり

(2)実施団体

地域人文化学研究所

(3)事業経費

1,201,580円

- 旧料亭「寿々家」を、まちづくり活動に関連する
ヒト・モノ・コトの様々な「縁」を結ぶ装置・
「まちの縁側」として活用を図る。

- ①所有者等に代わる管理活用方法の構築
- ②文化財建造物の適切な公開活用手法の検討
- ③管理活用のための事業企画及び事業化の能力向上
- ④他の活動主体や地域住民のネットワークの構築

事業の目的

事業の舞台「寿ゞ家」と足助の町並み



「寿ゞ家」外観



立面图



本館：木造瓦葺き・一部RC、地上2階・地下1階
新館：木造瓦葺き、地上2階

断面图



平面図



延べ床面積: 約300m²

寿ゞ家の記憶・・・まちの人たちの思い出



寿ゞ家の過去の様子
(建物所有者提供)



10年以上の「空き家」 平成23年当時の寿々家の状態



⇒ まちづくりのために活用するには？

(1) 建物修繕と交流の場づくり

- ①建物の修繕
- ②室内空間整備
- ③景観整備
- ④交流会の開催

(2) 定期的な管理人の配置

(3) 他の団体等との連携事業や観光行事に合わせた催事実施

- ①アートイベント「足助ゴエンナーレ」の開催
- ②「中馬のおひなさん」展示

事業の内容

(1)建物修繕と交流の場づくり

- ・修繕による建物維持の実例提示
- ・活動の「見える化」と「見せる化」
- ・内部公開時の安全性と利便性、雰囲気向上
- ・交流会によるまちづくり関連情報交換、ネットワーク形成

(2)定期的な管理人の配置

- ・管理体制(公開頻度、管理内容)の検証
- ・管理人による情報収集と発信

(3)他の団体等との連携事業や観光行事に合わせた催事実施

- ・公開手法等の検証
- ・建造物活用に関する「面白さ」の創出

事業の成果

事業の成果(1) - 1



建具等修繕作業



不要残置物処分作業



階段手すり取り付け
(大工の指導によるWS)



襖絵等の修復方法の検討

■「修繕」による建造物維持の実例提示

■建物外観の変化による活動の見える化・見せる化

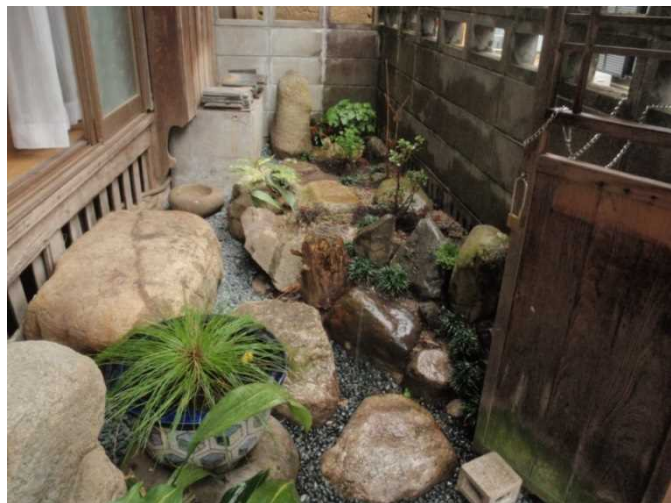
■周辺住民の活動に対する関心喚起

■内部空間の利便性の向上等

■襖絵等の保全に関する修繕方法の検討

⇒建物(モノ)による「縁」つなぎ

事業の成果(1) - 2



景観整備：北庭の解放



足助中学校生徒の参加



「花火鑑賞会」開催(8月13日)



「月見の会」開催(9月9日)

■ 内と外の間接地帯「縁側」の設定により、建物へのアプローチ演出

■ 作業に対する地元の協力

■ 作業参加による次世代と町並みとの縁つなぎ

■ 交流会による情報交換・ネットワークづくり等、まちづくりの拠点としての活用

⇒ 場(モノ・コト)による「縁」つなぎ

事業の成果(3) - 1



「足助ゴエンナーレ」開催

期 間:10月4日～13日の土日・祝日

来場者数:535人

入 場 料 :500円／人

- ・外部主体との連携による実行委員会主催
- ・豊田市教育委員会の公募型アート企画募集へ応募(大賞受賞)により実施



各種のコラボレーション

アート(作家)と和菓子(地元商店)



打ち合わせの様子



作品「足助桃太郎」



打ち合わせの様子



作品「足助菊次郎」



建物内外でのパフォーマンス

- アートを介した足助への来訪者獲得
- 商品開発
- 地元スタッフの協力

⇒ 催事等(コト)による
「縁」つなぎ

事業の成果(3) - 2



本館2階大広間の展示(足助観光協会協力)

「中馬のおひなさん」 展示

期 間 : 2月7日～3月8日
内部公開 : 期間中の土日祝日
来場者数 : 100人余／日平均
入 場 料 : 無料

- ・町並みの観光行事に合わせた公開活用
- ・展示したおひなさん(8式)は、地元の方々からの寄贈品(SNS等で募集)



「おひなさん」で賑わう町並み



本館1階座敷の展示



本館-新館渡りの展示

- (1) 修繕箇所が発生・費用の増加
- (2) 施設の不備の解消
- (3) 公開活用時の管理体制
- (4) 公開活用の頻度
- (5) 管理活用に関する費用

⇒ 活動の継続のために・・・

- ・活動の「面白さ」の提供
- ・「単体」ではない周辺での稼ぎ
- ・各方面との連携による体制の強化

事業実施後の課題

(1)活動の面白さの演出

面白さ＝新しい価値の情報発信

(2)点から線への展開

管理活用対象の拡大(地蔵堂庫裏)⇒地蔵小路

(3)活用推進の手段として

活用の実例提示による他の物件への波及

(4)「まちの縁側」の機能進化

内と外の間・触媒としての役割

今後の展開

つなぐ・混ぜ合わせる・反応を促進する・・・

モノ語りをつなぐコトで広がる世界

- コトとヒト
 - ヒトとモノ
 - モノとコト
- } 活動の効果・・・絡み合って動き始める。

- ・寿ぐ家への関心⇒町並み・まちづくりへの視点の提供
- ・文化的投資の促進

「まちの縁側」としての機能
